

文化庁京都移転 機運醸成シンポジウム



「文化・芸術を起点とする新たな価値創出に向けて」

2022 年度末から 2023 年度初めに予定される文化庁の京都移転により、文化行政の企画・立案のさらなる強化や国際発信力の向上とともに、観光・まちづくり・国際交流等、関連分野における施策との有機的な連携が期待されます。

このたび関西経済連合会では、関西広域連合とともに「文化と経済」をテーマにシンポジウムを開催します。文化庁が掲げる新しい文化行政への期待や、関西の歴史・文化のポテンシャルを活かし、文化庁移転の効果を最大限に発揮できるような方策について議論し、関西広域での文化・芸術を起点とする新たな価値創出に向けた機運醸成につなげます。

■ 日時

2022.12.12 月 15:00 ~ 17:00

定員

120 名(先着順)

※オンライン 無制限

■ 会場

大阪中之島美術館 1 階ホール (大阪市北区中之島 4-3-1)

※オンラインにて同時開催

■ プログラム

01. 基調講演

都倉 俊一 文化庁長官

02. パネルディスカッション

「関西広域での文化・芸術を起点とする新たな価値創出に向けて」

モデレーター：太下 義之 同志社大学経済学部教授

パネリスト：小川 理子 パナソニックホールディングス株式会社 参与 (関経連 都市・観光・文化委員会副委員長)

鈴木 大輔 株式会社アートログ代表取締役 CEO

都倉 俊一 文化庁長官

細尾 真孝 株式会社 細尾 代表取締役社長

※シンポジウム後 (17:15~18:45)、現地では希望者に大阪中之島美術館にて会期中の展示「すべて未知の世界へーGUTAI 分化と統合」について、学芸員から見どころを紹介いただきます。

■ お申込先

以下の URL か右の QR コードからお申し込みください。

<https://questant.jp/q/LVIOTUO1>

申し込み締切：2022.11.30 (水) 17:00



主催：関西経済連合会 TEL 06-6441-0106 (担当者：産業部 小池・鶴田・田上)

共催：関西広域連合

後援：大阪商工会議所／京都商工会議所／神戸商工会議所／関西経済同友会／関西・大阪 21 世紀協会／関西観光本部
歴史街道推進協議会／政府機関等との地方創生推進会議

協力：文化庁 地域文化創生本部



公益社団法人
関西経済連合会

《登壇者 ご略歴》

01. 基調講演 (パネルディスカッションにもご登壇予定)

都倉 俊一氏 文化庁長官

東京都出身。学習院大学在学中に作曲家としてデビュー。その後、海外各国で音楽活動を行う。国内では「日本レコード大賞」「日本歌謡大賞」「東京音楽祭最優秀作曲賞」「日本セールス大賞」等、主要な音楽賞を数多く受賞。一般社団法人日本音楽著作権協会 (J A S R A C) 会長、社団法人 (当時) 日本作曲家協会常務理事、文化庁文化審議会委員等を歴任。2021 年 3 月までは、アジア・太平洋音楽創作者連盟執行委員会会長の他、昭和音楽大学客員教授として教鞭を執る。2018 年に文化功労者。現在は横綱審議委員会委員を務める。2021 年 4 月、文化庁長官に就任。



02. パネルディスカッション

同志社大学 経済学部教授

太下 義之氏



博士 (芸術学)。文化経済学会 < 日本 > 理事、文化政策学会理事、デジタルアーカイブ学会評議員。文化庁文化審議会 (博物館部会) 委員、日本芸術文化振興会「日本博」アドバイザー、2025 年大阪万博アカデミック・アンバサダー、公益社団法人全国公立文化施設協会アドバイザー、愛知県民文化局アドバイザー、公益財団法人静岡県舞台芸術センター評議員、鶴岡市食文化創造都市アドバイザー。単著『アーツカウンシル』(水曜社)。

株式会社アートローグ代表取締役 CEO

大阪関西国際芸術祭 創設者・総合プロデューサー

鈴木 大輔氏



1977 年 11 月 3 日、文化の日生まれ。大阪市立大学都市研究プラザのグローバル COE に於ける研究プロジェクトを経て起業。2014 年グッドデザイン賞受賞、2015 年度 京都大学 GTEP プログラム (文科省) ファイナリスト、2016 年ミライノピッチ (ビジネスコンテスト : 総務省近畿総合通信局) においてグローバルイノベーションに値する OIH 賞を受賞。2017 年 7 月 7 日 株式会社アートローグ設立、代表取締役 CEO 就任。2025 年の大阪・関西万博を機に世界最大規模の「大阪関西国際芸術祭」を創出することを目指し、2022 年 1 ~ 2 月「Study: 大阪関西国際芸術祭」を開催。

パナソニックホールディングス株式会社 参与
(関経連 都市・観光・文化委員会副委員長)

小川 理子氏



大阪府出身。1986 年慶應義塾大学卒業。同年松下電器産業 (現パナソニックホールディングス) 株式会社へ入社。音響研究所、e ネット事業本部、ブランドコミュニケーション本部等を経て、2015 年同社役員 テクニクスブランド事業担当、アプライアンス社常務。高級オーディオ「テクニクス」の復活を総指揮。2021 年同社関西渉外・万博担当参与、テクニクスブランド事業担当参与、2022 年より現職。ジャズピアニストとしても活動し、2003 年米国リリース CD が、英国 Jazz Journal International でベストアルバム獲得。現在、一般社団法人日本オーディオ協会会長、マツダ株式会社社外取締役、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会理事。

株式会社 細尾 代表取締役社長

MIT メディアラボ ディレクターズフェロー
一般社団法人 GO ON 代表理事

細尾 真孝氏



1978 年生まれ。1688 年から続く西陣織の老舗、細尾 12 代目。2008 年に細尾入社。西陣織の技術を活用した革新的なテキスタイルを海外に向けて展開。世界のトップメゾンの店舗や 5 つ星ホテルに供給するなど、唯一無二のアートテキスタイルとして、世界のトップメゾンから高い支持を受けている。2012 年より京都の伝統工芸を担う同世代の後継者によるプロジェクト「GO ON」を結成。国内外で伝統工芸を広める活動を行い、「GO ON」として関西財界セミナー賞 2015 特別賞を受賞。著書に『日本の美意識で世界初に挑む』(ダイヤモンド社)。